

第3回 小樽市看護職員確保対策協議会 議事要旨

【日 時】 令和6年11月20日(水) 18時00分～19時20分

【場 所】 小樽市医師会館4階 第2研修室

【委 員】

出席委員 小樽市医師会長、小樽市医師会副会長、北海道看護協会小樽支部長、小樽公共職業安定所長、小樽市立高等看護学院副院長、小樽市立高等看護学院事務長、小樽市保健所長

欠席委員 小樽市副市長

【事務局】 小樽市保健所保健総務課：次長、課長、主幹、主査

【次 第】

1 開会

2 議事

(1)報告事項

- ・事務局から前回の会議後の公表や動きについて
- ・各団体からの活動報告について

(2)協議事項

- ・来年度実施の事業について

(3)その他

3 閉会

【2 議事（要旨）】

(1) 報告事項

- ・事務局より、第2回協議会の議事録を小樽市ホームページに掲載したこと、北海道看護協会小樽支部管理者会議において本協議会の目的と内容を説明したことを報告。また、今後、市立高等看護学院との意見交換を予定。

(2) 協議事項

- ・新卒者確保、既卒者掘り起こし、離職防止の「3つの柱」を指針として、短期・中期・長期的な視点から対策を検討し、事業を実施していく。
- ・令和7年度に実施する対策として、各医療機関を紹介するウェブサイトの作成を進める。先輩看護師の声や実習内容等について、写真や動画を取り入れ、小樽市の看護職の魅力を発信できるような充実したホームページ運営を目指す。パンフレットや冊子では、ウェブサイトの閲覧を促すような内容を盛り込み、SNS等のツールを活用して広く周知を図る。また、学校訪問を含めて関係機関へのアプローチや情報提供のアプローチ活動を進め、小樽市内医療機関のPRを行う。

- 令和8年度以降に実施する対策として、市立高等看護学院の定員増、実習病院の拡大、看護師定着支援事業の実施、転居等に係る支度金制度の創設、復職相談窓口及び復職プログラムの創設、移住者向けウェブサイトの活用、職場環境・処遇の改善など幅広い方面から事業を検討していく。
- 長期的な視点では、子どもたちや保護者に向けて、看護職に対する興味・関心を喚起するための情報を発信し、小中高といった早い段階でのキャリア教育を推進していく。